

## 東京 2020 大会に向けた西東京市の取組方針（案）

### ～「健康」応援都市の実現を目指して！～

#### 1 策定の趣旨

東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という。）の開催は、競技スポーツはもちろん、障害者スポーツについても関心が高まることが予想され、西東京市におけるスポーツを通じた共生社会の実現を目指す上で、大きな原動力になることが期待されています。

そこで、西東京市では、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合や日本スポーツ振興センター等と連携し、オリンピック・パラリンピアンやパラスポーツ指導者等との交流事業を実施するなど、パラスポーツの普及・啓発を通じ、障害者理解の促進に努めるとともに、共生社会（ソーシャルインクルージョン）の実現を目指すことにしました。

また、スポーツと文化、教育との融合、平和の実現や人権の尊重といったオリンピック憲章の理念をまちづくりに活かしていくことは、「健康」応援都市の実現を目指す上で重要な方向性の一つになります。

東京 2020 大会を契機として市民がスポーツに親しむ機会を増やし、こころやからだ健康になり、まち全体が健康なることが、「住み続けたいまち」「住みたいまち」としての価値を高め、「健康」応援都市の実現につながるものと考えます。

このように西東京市では、スポーツ環境等を支える人材や共生社会の実現に向けた取組など大会後のレガシーを見据え、東京 2020 大会に向けた取組方針を策定します。

#### 2 取組方針

##### (1) 東京 2020 大会の機運醸成

東京 2020 大会に向けた関連イベントやスポーツ大会等を、スポーツ関係団体や企業等と連携しながら実施するとともに、市民に効果的な情報発信を行いながら、様々な分野で幅広い世代が活躍する場、参加する場、楽しめる場を設け、大会機運の醸成と高揚を図ります。

また、東京 2020 大会をきっかけに、多くの市民がスポーツに対する意識を高め、スポーツ実施頻度を増やすことによって、スポーツが日常生活にとけ込み、誰もがいきいきと豊かに暮らせる西東京市を目指します。

## (2) 誰もが参加できる環境の創出

---

するスポーツ、みるスポーツ、支えるスポーツなど、子どもから高齢者、障害者など、誰もがスポーツ活動に参加できる環境を、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員会、学校や企業など様々な主体と連携しながら創出するとともに、スポーツを通じた健康づくりを支援し、体力・運動能力の向上につなげ、まちを元気にしていきます。

また、スポーツ環境を充実させるために、スポーツボランティアや障害者スポーツを支える人材の発掘・育成などに取り組んでいきます。そして、その人材が、東京 2020 大会において活躍し、大会後においても重要なレガシーとなることを期待しています。

## (3) 文化等地域資源の市内外への発信と地域振興

---

オリンピック・パラリンピックは、スポーツのみならず文化の祭典でもあることから、地域ゆかりの伝統・文化や文化財等、まちの魅力を広く市内外に発信することで、西東京市の認知度の向上を図り、地域振興につなげていきます。

また、市内外に住んでいる外国人が、日本の文化に触れる機会を設けるなど、国際交流の促進に努め、多くの市民が多様な価値観を尊重し、豊かな国際感覚を身につける取組を進めます。

## (4) 子どもの教育と多様な価値観を尊重する共生社会づくり

---

オリンピック・パラリンピックの精神を学び、子どものスポーツ活動への参加促進やスポーツへの関心や親しみを一層高めるとともに、青少年の健全な育成を図ります。

また、世界の国々の文化、食、生活、遊びなどを知る取組を推進し、日本と外国の文化の違いを学ぶことにより、多面的で柔軟な見方を養い、多文化共生の理解促進を図ります。



### 東京 2020 大会のレガシー継承による「健康」応援都市の実現

東京 2020 大会に向けた取組を着実に進めることで、スポーツ環境等を支える人材や共生社会の実現に向けた取組がレガシーとなり、西東京市の目指すまちづくりの方向性である、「健康」応援都市の実現へとつながります。